

会 議 録	
会 議 名	平成20年度 第1回 丸亀市行政評価委員会
開催日時	平成20年6月27日(金) 午前10:00~午前11:55
開催場所	丸亀市役所 別館5階第1会議室
出席者	(出席委員) 岡 千枝 柴田 潤子 田中 豊 三宅 耕三 石原 茂 河田 博之 長尾 正美 溝淵 由美子 (欠席委員) なし (説明のために出席した者) 企画財政部長 直江 安俊 企画課長 大喜多章親 企画課行政改革推進室長 矢野 律 企画課担当長 小山 隆史 企画課副主幹 徳田 明香
議 題	1. 丸亀市行政評価委員会の運営について 2. 丸亀市行政評価委員会による評価について 3. その他
傍聴者	なし
発言者	議事の概要及び発言の要旨
議事の進行及び発言の要旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 丸亀市行政評価委員会委員委嘱</li> <li>・ 市長あいさつ</li> </ul> <p>本日は、第1回目の丸亀市行政評価委員会です。丸亀市は市民主体のまちづくりを目指しております。そういった意味でこの行政評価委員会は、非常に重要な役割があると思っております。これまでの内部での行政評価に加えて、この行政評価委員会は外部からの評価ということで、丸亀市が取り組んでおります施策、事務事業の軌道修正の場であると考えております。皆様の目で行政の様々な事業について、良いものか悪いものかという評価をお願いしたいと思います。職員には、厳しい視点で予算編成を行うよう指示しておりますが、予算執行においても事業を精査して経費節減に努めるという姿勢が大事であると話しているところです。市民の皆様のご賛同を得られるような事業を進めるためにも、委員の皆様の協力をお願いします。</p>
企画課長	<p>それでは、議事に入ります前に、各委員の皆さんをご紹介します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各委員紹介</li> </ul> <p>本日出席の職員を紹介いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出席職員紹介</li> </ul> <p>事前配布資料を確認いたします。</p> <p>【資料1】丸亀市の行政評価について</p>

	<p>【資料2】丸亀市行政評価委員会の運営について(案)</p> <p>【資料3】丸亀市行政評価委員会による評価について</p> <p>【資料4】平成20年度 施策評価(1次評価)結果一覧</p> <p>【資料5】平成20年度 事務事業評価(1次評価)結果一覧</p> <p>「まるがめまちづくりガイド」「丸亀市総合計画」</p> <p>資料について、事務局より説明をいたさせます。</p>
企画課担当 長	〔 配布資料の概要説明と、【資料1】に基づき丸亀市の行政評価について説明 〕
企画課長	只今の説明につきまして、何がお質問はございませんでしょうか。
石原委員	先に資料を送っていただいておりますので、目を通してまいりました。資料によりますと、施策、事務事業が多種多様でして、編集・作成する担当者には専門分野だと思っておりますが、評価委員として、これらの事業に関して断片的ではなく、総合的な評価をするということになるのですか。
企画課担当 長	全体の評価をお願いしたいと思っております。1次評価は、縦割りと申しますか施策の担当課でそれぞれの立場による評価を行いまして、2次評価で内部での総合的な評価を行います。行政評価委員会の皆様には、外部からのご意見をいただきたいと思っておりますので、資料が多いとは思いますが総合的な評価をお願いいたします。
石原委員	この資料にある施策、事務事業についてトータルに評価するためには、すべての分野に亘って勉強する必要があるという点を確認したいのです。
企画課長	外部評価については初めての試みで、専門的な学識経験者の方と公募の方が半々おいでです。視点としましては、全てをトータルに見て、それぞれの立場で評価していただけたら良いのではないかと考えておりますので、よろしくお願いたします。
	ここで、委員長と副委員長の選任に移りたいと思っております。会議規則では互選となっておりますが、どなたか立候補、または案をお持ちの方はいらっしゃいませんか。
各委員	事務局に考えはないのですか。
企画課長	事務局の考えはということですので、事務局としては学識経験者として行政評価にお詳しい田中委員に委員長を、副委員長には溝渕委員をお願いしたいのですが、いかがでしょうか。
各委員	異議なし。

企画課長	それでは、田中委員、溝渕委員よろしくお願いいたします。議事の進行は、委員長をお願いしたいと思います。
田中委員	香川大学の田中でございます。委員長の大役が十分に務まるかどうかわかりませんが、精一杯努力してまいりますので、ご協力いただけますようお願いいたします。
溝渕委員	副委員長としてどれだけのことが出来るかわかりませんが、よろしくお願ひします。
委員長	それでは、議事を進めます。議事の1丸亀市行政評価委員会の運営についてですが、事務局から説明をお願いします。
企画課担当 長	〔 【資料2】に基づき、丸亀市行政評価委員会の運営（案）について説明 〕
委員長	事務局の説明に対して何かご意見はありませんか。運営案については、標準的なものと思われませんがいかがですか。ご意見がないようですので、委員会の運営については、事務局案のように取り扱っていただきたいと思ひます。 続きまして、議事の2丸亀市行政評価委員会による評価について事務局から説明をお願いします。
企画課担当 長	〔 【資料3、4、5】に基づき、丸亀市行政評価委員会による評価について、その内容とスケジュール等を説明 〕
委員長	事務局の説明に対して何かご質問はありませんか。
岡委員	評価内容ですが、施策名「1.地球温暖化の防止」については、指標が2つでも作業シートの記入欄は1つですか。
企画課担当 長	【資料3】の1ページ【採点基準表】の注にありますように、現時点で実績値が得られていないものについては、採点する必要はありません。
岡委員	空欄になっているものについてだけ採点するのですね。
企画課担当 長	はいそうです。
石原委員	7月3日(木)までに【資料4、5】にある事務事業、成果指標について、170

	<p>件でその2倍の資料の内容を全て読んで、疑義があれば質問事項を事務局へ送るといことですね。量が多いこともあり、完璧ということはありませんから、出来る範囲でさせていただけるということであれば、肩の荷が下りると思います。資料を作る方も大変だったと思いますが、我々にとっては、これを読んで質問をまとめるのは大変な作業だなと思いました。</p>
企画課担当 長	<p>時間的な制約がありますので、ご無理を承知でお願いした次第ですので、大変な作業ですが、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
委員長	<p>他にはございませぬか。7月3日(木)に事務局着といことですか。</p>
企画課担当 長	<p>できれば、そのようにお願ひしたいのです。</p>
企画財政部 長	<p>この評価スケジュールはあくまで案ですから、状況を見ながら柔軟に対応していきたいと思ひます。</p>
三宅委員	<p>1次評価の判定A Bは今回と同様に評価しているようですが、この評価は誰がしたのですか。</p>
企画課担当 長	<p>施策を所管する担当部が評価しました。</p>
企画財政部 長	<p>内部評価でも、それぞれ得意不得意があるので、全部を精査するのは難しいので、特に力を入れるべき事業について重点的に評価することもあります。そういったことで、満遍なく完璧に評価するといことでもなくてもいいのではないかとと思ひます。</p>
河田委員	<p>この資料が送られてきて、正直なところびっくりしました。事業によっては、現場を見る必要がある場合も考えられます。初めての試みといことであり、大事な問題について勉強していく必要があると思ひます。心配なのは、公募もして評価委員会が発足したのに、机上だけで終わってしまったのでは、本当の意味での行政評価にならないのではないかといことです。市長のごあいさつのように意義ある実りのあるものにするためには、少し時間が短すぎると思ひます。</p>
企画財政部 長	<p>8月上旬の報告案作成から逆算すると、こういった時間的に厳しいスケジュールになりました。ご承知のように前年度の決算値が確定するのは5月末日です。決算後に1次評価することになります。秋からの次年度計画策定、予算編成作業に間に合わずには、この間しかないわけで、時間的に制約されます。ただ、委員会が4回</p>

	<p>ぐらいでいいのかという議論はあろうかと思います。集中的な事業については、原課の説明を求めたり、見学会を設けてもよいと思います。これはあくまで標準的なスケジュールですので、実際評価をしていただく中で変形するほうが良いということもあろうかと思いますので、最終の報告書提出期限には間に合わせることにした上で、改めてセッティングしていくことも考えております。</p>
柴田委員	<p>7月8日(火)までに、質問事項の回答が送られてくるのですか。</p>
企画課担当 長	<p>はい、次の委員会7月11日(金)の前にはお送りする予定でおります。委員会で質問の回答に時間を費やすようなことがあると進行に差し支えることもあると思われまので、事前に回答をお送りするわけです。ただ、状況によっては、委員会当日に回答した内容について説明させていただくこともあろうかとは思っています。</p>
委員長	<p>ヘビーな委員会になりますが、評価シートは最終的に7月22日(火)に提出すればいいわけです。ただ、多岐に亘る内容で、委員会当日、170本の事務事業についての担当各部署からメンバーがそろわなければならないので、できるだけ7月3日(木)までにペーパーなどで質問をもらって、各担当部署の回答を事務局でとりまとめて、事前に送付していただくことは、評価のプロセスとして効率的かと思えます。</p>
企画財政部 長	<p>第2回の委員会以降に、評価作業を行う中で、個々にあがった質問については、委員会開催の前に回答したいと考えております。</p>
長尾委員	<p>【資料2】の7ページに各委員の名簿がありますが、学識経験者の方が半数いらっしゃいます。「まるがめまちづくりガイド」の10ページに掲載されている政策に従って分野をわけて、それぞれに担当を決めてみるというのはいかがでしょうか。</p>
企画財政部 長	<p>専門性の高い分野とそうでないものを分けて担当制にして評価するという手法もあると思うのですが、初めの流れとしてはこれで提示させていただき、それぞれフリーの立場で全体を見ていただきたいのです。ただ、今後の状況を見ながら柔軟に対応していきたいと思っております。</p>
河田委員	<p>資料にざっと目を通したところでは、やはり「B やや遅れている」という判定のものを重点的に評価作業をおこなうことになるのでしょうか。</p>
企画課長	<p>そういった観点から、施策、事務事業について選別して評価するというのも一つの方法だと思います。</p>
河田委員	<p>170の事業について、「A 予定通り進捗している」という判定の場合は、時</p>

<p>企画財政部 長</p>	<p>間的制約のある状況下では、評価が行き届かないと思います。</p> <p>ところで、施策を進めていくうえで基本となる総合計画についてですが、計画期間が都市計画などの20年に対し、この総合計画が10年というのは少し短いように思いますがいかがですか。</p> <p>どの計画についても、次の計画まで何もしないというわけではなく、社会状況の変化に対応するために、随時見直しをおこない、それぞれ修正を加えております。</p>
<p>溝渕委員</p>	<p>評価するにあたって、よく思うことなのですが、総合計画などで基準値、目標値として数だけで評価しているように感じます。たとえば、ボランティア活動にしても、団体の数を増やしていくことだけで評価するというのには違和感があります。数が増えたことがそのまま内容の質的な向上に結びついているわけではありません。充足感や豊かさにといったものは数値だけで測れないし、十分な評価とは言えないのではないかと思います。</p>
<p>企画課担当 長</p>	<p>確かに基準値と目標値を設けて指標としているのですが、数値目標だけでなく、アンケートを実施してその結果を取り入れております。要は市民の皆さんが「いいまち」と実感していただけるような丸亀市にするために、本当に意味のある評価としていかなければなりません。行政評価の目的は、改善点や問題意識を見える形にしていくことにあります。そうでないと、頭の中にある構想が形にならずに終わってしまいます。目に見える形として数字に表すことで、共通の認識として市民の方にも見て評価していただけたらと思います。改善の流れをわかっていただき確認していただくための手法として数値目標を設定しております。</p>
<p>企画財政部 長</p>	<p>施策目標として、市民の皆様の満足度をはかるには、数値目標が適切とはいえない面もあります。満足度をはかるために、どのような手法が適切なのかを、評価委員会で提案していただきたいと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>【資料2】の1ページ4 評価委員会の所掌事項の(2)に、「市が実施する行政評価の改善に関し、必要な意見を述べまたは助言する。」とあります。次回に向けて、そういった観点から提言をしていくということもこの委員会での責務ではないかと思いますが、どうでしょう、よろしいですか。</p> <p>それでは、議事の3「その他」に移りたいと思います。事務局の方で何かありますか。</p>
<p>企画課長</p>	<p>開催の日程ですが、【資料3】の3ページに評価作業スケジュール(案)としてお示ししておりますが、あくまで案ですから、日程の調整をして変更も可能です。委員のみなさん方のご都合はいかがでしょうか。</p>

	<p style="text-align: center;">調整の結果、第2回を7月11日(金)、第3回を8月1日(金)、第4回を8月22日(金)、各回とも午前10時から本館5階第1会議室にて開催することに決定。</p> <p style="text-align: center;">よろしく願いいたします。</p>
河田委員	<p>ところで、先ほど企画財政部長から総合計画やマスタープランなどについての見直しのお話がありましたが、市役所で設置している様々な委員会のあり方について見直しをしていただきたいと思えます。委員を公募してはいるが、必ずしも市民のニーズが反映されているとは言えないような、行政の側が十分に市民の意を汲み取っていないように感じます。溝淵委員からのお話にありましたが、現場の声が審議会や委員会で反映されるように、形式的に終わってしまうことのないようにしていただきたいのです。そういった意味で、この行政評価委員会は中味の濃いものにしていきたいと思えます。その他にも、具体的には、総合計画やマスタープランなどの策定には私も関わりましたが、地域コミュニティの代表やそれぞれそれなりの学識経験をお持ちの人が、ワークショップを開催してまとめあげたものなのですが、一般市民の声がいかされているのかなという疑問があります。確かに市民の側にも関心がないといった問題があるのですが、市の側で何とかして市民の意を汲み取っていく努力をお願いしたいのです。公募委員については、特に市民の関心が薄いように思われます。公募委員の応募状況はどのようなのですか。</p>
企画課長	<p>市民参画の意味で、附属機関の委員について公募していますが、多くの方に公募委員として参加いただいております。これまで公募して、応募がなかったのは1件のみでしたが、それ以外については、今後ともできる限り公募委員を増やすよう努めてまいります。市が情報を発信し、市民との情報の共有を図りながら、市民参画を促していきたいと考えております。</p>
河田委員	<p>市民ももっと市政に関心を持っていきたいと思えます。ところで、この行政評価委員の実施要綱に評価委員会の構成に「市長が特に必要と認める者」とあるのですが、そういった人は構成者となっているのですか。</p>
企画課長	<p>構成者としては、行政評価委員実施要綱の第9条第1項第1号の「学識経験者」と第2号の「公募委員」だけで、河田委員のおっしゃる第3号の「市長が特に必要と認める者」は今回おりません。</p>
河田委員	<p>こういった委員会で、構成者8人のうち公募委員が4人で半数を占めたのは初めてのことでないかと思うのですが、その点は評価しています。私が日頃抱いていた、市政に市民の意見を反映させなければならないという考えを聞き入れていただいたのかなと喜ばしく思いました。公募については応募がない場合などには、市が</p>

企画課長	指名するののも一つの方法ですからそういうこともされているのでしょね。
河田委員	公募委員として、市の側からお願いすることはありません。
委員長	自分にできることは自分がするという姿勢で、市民はもっともっと関心を持って参画していかないと市政が良くなりませんね。
	公募委員については、よろしいでしょうか。他にご意見はございませんか。 この委員会は、丸亀市の行政について適切な評価を行うということが責務ですので、委員のみなさん、任期2年の間、大変ですが一緒にしっかりとがんばりましょう。 それでは、第1回丸亀市行政評価委員会を閉会といたします。みなさん、お疲れ様でした。